

八王子障害者団体連絡協議会

2013年度定期総会議事録

定期総会式次第および提出議題

1. 開 会
2. 代表の挨拶
3. 総会定足数の確認 → 正会員 (69) 出席 (19) 委任 (27) → 成立
4. 議長の選出 → 秦 (ころぼっくる)
5. 書記の任命 → 伊東 (ほほえみ) 議事録署名人 茅田 (パオ)
6. 議事審議

第1号議案	2012年度 事業報告	2頁 ~ 7頁
第2号議案	2012年度 事業決算報告	8頁
第3号議案	2013年度 事業計画 (案)	9頁 ~ 12頁
第4号議案	年会費の改定および会員規定の新設 (案)	13頁
第5号議案	2013年度 事業予算 (案)	14頁
第6号議案	規約の改定・追加 (案)	15頁
第7号議案	2013年度 役員・運営委員の選出 (案)	16頁
7. 議長・書記の退任
8. 閉 会

開催日時：2013年 5月18日(土) 13:30~15:30
(開場 13:00)

会 場：八王子労政会館 サークル室

■情勢など…

1984年末、当時計画中の「八王子市総合福祉センター（現東浅川保健福祉センター）」を利用者側から考える連絡組織として八障連が発足、30年近い時の流れの中で、私たちを取り巻く環境も措置から当事者支援へと大きく転換されました。そうした中で八障連の地域での役割も、大幅な軌道修正を余儀なくされています。

行政施策への当事者参画・市民参画が急速に進む中、その受け皿として半ば一方的に位置づけられ、その人選や会議への出席が多くなる反面、現場を抱えての対応にも限界があり、対応に苦慮する場面も年を追う毎に多くなっています。

○小規模通所事業所の法内移行の問題

自立支援法の成立後に行政側が法内移行を強く勧める中、多くの小規模事業所が様々な負担と葛藤を抱えながらもほぼ9割が移行を完了させました。そんな中で法内事業に合致しない残り数事業所についても、ようやく市としても個別に策を講じることで存続の道を確保しました。しかし、正に滑り込みの妥協策の感は否めず、運営基盤の貧弱さは取り残されたままの現状です。

○自立支援・生活支援事業所の増加

一方で、自立支援法の施行を境に自立支援等を軸とする相談支援事業所・グループホーム・ショートステイ等が年々数を増やし、要となる地域自立支援協議会も動き出し、これまで以上に行政との連携も強化されました。但し、その一方で限界まで圧縮された委託費の基、経費を切り詰めての運営に追われ前途多難な現状も浮き彫りとなっています。

○任意団体・当事者団体の現状

現場を持たない任意団体・当事者団体は、多くは会員役員の高齢化が進み次世代への新陳代謝が進まない現状もある中で、公共機関のバリアフリー化等の制度・環境の変化とも相重なる問題の複雑化もあり、専門知識を必要とする行政等の要求に苦慮する実態も見られ、一部では活動の停滞傾向も余儀なくされています。

○八障連としての課題と模索

そういった個々の目的意識が見出しにくい現状もあり、八障連の存在価値を対社会への運動体から単なる情報収集の機関と捉える会員も増え、毎月の例会等は、現場の多忙さや直面する課題の乏しさを理由に出席を控える団体が年々多くなっています。一方で、法人化と共に複数の事業所を抱える団体が増え、現場と八障連との距離が広がり、団体内での認知が薄くなっていることも、活動の停滞を招く大きな要因となっています。

そのような厳しい情勢の中でも、私たちは八障連を30年近い時を重ね、障害・団体の種別を超えた地域運動の要であり、財産であると捉えてきました。個々の団

体や当事者が孤立状態となることに歯止めをかけ、ネットワーク化を模索し、毎月の運営委員会と例会の開催、八障連通信の継続発行ができたことは、一定の評価を得ているものと考えます。さらに、市内外の情勢の変化に関しても会員間で情報を共有し、行政との交渉も続けてきました。

また、前年度に引き続き、八王子市または社会福祉協議会の各委員会へも、多くの会員が委員として参画し、恒例としている市議会議員との懇談会を開催する等、厳しい中でもより前向きな活動を進めてきました。

■加盟の状況

《新規入会》

田中 拓哉（個人賛助＝2012年度）

《退会》

ぶらさdeかたくり

ポケットクラブ

りょうなん

* 事業所の合併等に伴い

<以上文責／夢田>

■活動の概要

●毎月の運営委員会と例会

- ・例会と運営委員会に大きな枠を設けず、毎月第3木曜日にて横断的な形で行ってきた運営委員会と例会は、24年度に入り全体の様子に少しずつ変化が出てくる。大きな特徴としては、視覚に障害をお持ちの方など様々な立場の方々に参加して頂けるようになってきた事により、各運営委員の専門分野以外の知識や経験から生まれてくる貴重な意見がイベントを企画する運営面などに大きく反映されるようになってきた。

●情報の共有方法

■八障連通信

- ・記載内容のマンネリ化を防ぐ目的で、運営委員以外の方々にコラムの原稿を依頼し、変化のある通信を心がけた。また、各団体の会費負担額の削減に伴い印刷コスト削減の試みとして、カラー印刷からモノクロ印刷に変更すべく通信のレイアウトをリニューアルした。しかし、パソコンの互換性の問題によって不完全な印刷物がそのまま郵送されてしまう手違いが続き、関係者に多大なご迷惑をお掛けしてしまった。

<以上文責／川出>

■ 八障連ホームページ・八障連ブログ

- ・ 2010年11月より開設した八障連ホームページですが、パスワードを設定し、会員団体とその他の差別化をしていましたが、より利便性を向上させるためにパスワード設定を無くしました。運用をしていくなかで八障連ブログのほうが検索サイトでも上位となり、ホームページと分けて存在するのも効率が悪いのでブログサイトに一本化し、ホームページはデータ保管で活用しました。ホームページは無料サイト(fc2)を利用していたが、たびたびデータが消えてしまうことが重なったため、有料のプロバイダ(nifty)にてデータを保管することに變更し改善を図りました。

<文責/有賀>

■ 対「行政」への取組

1. 対市予算要望・政策提言等

総会などでの要望事項を基本に、取組を進めました。

- ◇ 障害者福祉課との予算・政策等交渉(2012、9/7市役所801、約50名)

■ 障害者総合支援法(障害者自立支援法)関連

来年度からの現行サービスが継続すること(こあらくらぶ)

⇒交渉後 3月時点で確定ではないが以下の制度を利用することになった。

○児童福祉法—多機能型事業所

- ・重症心身障害児、児童発達支援
- ・放課後等デイサービス

○自立支援法

- ・地域生活支援—日中一時支援

移行先が見つからない問題(わくわく)

⇒地域活動支援センターⅢ型と放課後等デイサービスの複合型で改修が終了した。現在、放課後等デイの利用者を募集中。

■ 「家賃補助」関連

8割補助の継続を要望

⇒交渉後 家賃16万円以上は上限を30万円とし、基礎部分の15万円は80%補助、残りは50%補助。家賃15万円までは80%補助。新規対象施設(営利団体は除外)は上限30万円で50%補助、と市から2月22日に提示があった。

■ 狭間体育館、大横福祉センター等の建て替え問題

⇒当事者参画を約束。

■ 日中一時支援事業の単価報酬見直し（ころぼっくる）

⇒交渉後 単価自体はアップしなかったが、1時間単位での単価報酬方式は実現した。

■ 防災関連（オストメイトの会・八腎会）

⇒障害者用トイレや二次避難所などの問題を指摘したが、課題が非常に大きく防災課の担当という問題もあり、詰めることが出来なかった。八障連としても問題・課題を整理し柱を立てて臨む必要があった。継続課題。

<文責／脇田>

2. 八王子市障害者地域自立支援協議会への参画

平成24年度は、条例案検討部会の発展的解消を受けて、差別禁止条例をテコに、障害のある人たちの権利擁護を推進していくための「権利擁護推進部会」と入所施設や病院から地域への移行とともに、今地域で暮らしている人たちが、今後も継続して地域で暮らし続けられるような支援をしていくための「地域移行・継続支援部会」の2つの部会を設置して活動しました。また、全体会としては、部会の活動について協議するとともに、障害福祉計画の進捗状況についてモニタリングをおこないました。

○権利擁護推進部会

今年度は10月6日にクリエイトホールで開催された「障害がある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」の制定記念講演会の企画・運営とそれにあわせて発行する障害理解を深めるためのガイドブック「みんなちがってみんないい」及びその概要版の作成を、第1回から第9回までの計9回の部会で検討しました。イベント終了後の第10回の部会ではその反省と来年度の活動について意見交換をしました。また、この回より、差別・虐待の事例について市及び各相談事業所から簡単な報告をいただきました。第11回の部会では、部会の目的の再確認と2013年度におこなう事業について検討しました。そして最後の第12回の部会では、事業を実施するワーキンググループごとに、年間の活動計画を検討しました。

前述のガイドブック、概要版ともに4000部印刷し市の出先機関を中心に配布されました。また、市のホームページにもアップされました。

○地域移行・継続支援部会

今年度は、地域移行・継続にかかる現状を部会として共有するため、事例検討を中心としながら、報告に留まらず、市の障害関係データや市障害計画などとも照らし合わせ課題を抽出し、今後の施策・サービスにつなげていくことを目指して活動しました。

具体的には「入所施設からの地域移行」、「精神障害者の地域移行」、「八王子地域における就労支援」、「地域生活を支援する。その現状と課題について」といったテーマで関係している部会員が報告者となり、2ヶ月に1回のペースで例会を開催しました。

<文責／土居>

■市議会全会派議員との懇談会を開催

2月15日、労政会館にて、市議会議員11名、八障連歡迎者57名が出席するなか、一昨年の東日本大震災以降、全国的な課題となった『防災』の問題をテーマに開催しました。

映画「逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者」の上映に始まり、災害時にはぜひ必要と見込まれながらも課題の多い「福祉避難所」と「要支援者名簿」についての話題、震災当日の各施設の対応の様子、地域の防災訓練に参加したときの様子などが語られ、意義ある懇談となりましたが、予期せぬ災害に備えるためにはまだまだ情報手持ちの情報だけでは足りず、八障連と市議に加えて、行政も交えての活発な情報交換や勉強会のような取り組みが必要ではないか。という結論に達しました。

<文責／杉浦>

■会員相互の交流

1) ボウリング大会の実施

今年度も例年通り、会員相互の交流を目的としたボウリング大会を、平成25年2月9日（土）高尾スターレーンにて開催しました。参加人数は、昨年を上回り、57名の方が参加されました。当日、他の大会と重なり、フロアすべてを借りることができず、フロアの一部での賞品授与式となりましたが、当事者の方、職員のかたが一体となってゲームに熱中し、楽しい時間を過ごすことができましたと思います。

今後も、参加団体の方の要望を取り入れて、より楽しいボウリング大会を続けていきたいと思っておりますのでご協力のほど、よろしくお願いいたします。

<文責／山田>

■各種委員の推薦、在任中の委員の紹介

八王子市および社会福祉協議会の各種委員会に以下の方々が参画しました。

- 八王子市地域公共交通活性化協議会委員に、八王子障害者協議会の星野万喜人氏、八障連代表の夢田靖史が在任中です。
- 八王子市交通バリアフリー情報交換会委員に、八王子視覚障害者福祉協会の小林文雄氏、ヒューマンケア協会の塚田芳昭氏、あっとほうむの丸山武氏、ポリオの会八王子の鈴木房子氏が在任中です。
- 東浅川・南大沢・大横町3福祉センター合同運営協議会委員のみんなの家の矢代美知子氏が任期満了で退任。代わって第一若駒の家の杉浦貢氏を推薦しました。
- 八王子市 JR 八王子駅北口駅前広場公共サイン関係者協議会委員に、あっとほうむの丸山武氏推薦、協議会の終了に伴い昨年末をもって退任しました。

- 平成 25 年東京国体八王子市実行委員会委員に、八王子セブンクラブの鈴木功一氏が在任中です。
- 八王子市地域保健福祉推進協議会委員に、結の会の脇田泰行氏が在任中です。
- 三多摩福祉有償運送運営協議会委員に、ヒューマンケア協会の塚田芳昭氏が在任中です。
- 八王子市社会福祉協議会歳末助け合い募金配分検討委員に、結の会の脇田泰行氏が在任中です。
- 八王子市社会福祉協議会ボランティア活動協議会委員に、第一若駒の家の杉浦貢氏が在任中です。
- 八王子市社会福祉協議会評議員に、個人賛助会員の大信正良氏が在任中です。
- 八王子市都市計画マスタープラン検討委員会都市防災専門ワーキング・グループ委員に、ケアサービス若駒の大須賀裕子を推薦しました。
- 八王子市障害者地域自立支援協議会・権利擁護に関する調整委員会委員に、代表の多田靖史、ケアサービス若駒の大須賀裕子が在任中です。

■八王子市障害者地域自立支援協議会参画委員

平成 22 年 3 月に設置された八王子市障害者地域自立支援協議会には委員として、加盟各団体より以下の方々が参画しています。

多田 靖史	八王子障害者団体連絡協議会
中西 正司	生活支援センターぴあ・らいふ（ヒューマンケア協会）
塚田 芳昭	相談支援センターサポート南多摩（ヒューマンケア協会）
田丸 俊彦	レストランあさかわ
平松 慶子	ペットボトル中間処理事業所リボーン（年度途中退任）
大窪 卓真	多摩草むらの会
土居 幸仁	NPO 法人八王子ワークセンター（八王子生活館）
芝 敏子	八王子福祉園（ゆうやけの里地域福祉フォーラム実行委員会）
山本 誠	マインド八王子（わかくさ福祉会）
上田 広美	地域活動支援センターあくせす
風間美代子	相談支援センター待夢（多摩草むらの会）
大須賀裕子	若駒ライフサポート（グループホームよこかわ）
高橋 義人	恩方育成園（団体賛助会員）
光岡 芳宏	ヒューマンケア協会＝知的当事者のサポーター＝

<以上文責／多田>

以上、2012 年度事業の概要をご報告致します。

補足：埼玉わらじの会との講演および交流が抜けている。

承認

第2号議案 2012年度 事業決算報告

2012年4月1日～2013年3月31日

	科目	2012 予算額	2012 決算額	増減	備 考	
収入	年会費	920,000	1,306,830	▲ 386,830		
			539,660	▲ 539,660	前年度 未回収会費	
	ボウリング参加費	25,000	27,000	▲ 2,000		
	合 計	945,000	1,873,490	▲ 928,490		
支出	事務局	人件費	324,000	324,000	0	事務報酬 5,000円×5名×12ヶ月+2,000円×12ヶ月×1名
		通信費	100,000	124,173	▲ 24,173	携帯電話代
		振込手数料		7,560	▲ 7,560	
		八障連通信費	290,000	299,552	▲ 9,552	通信発送費・電話・年会費振込手数料
		消耗品費	5,000	1,785	3,215	事務用品
		HP プロバイダー		4,344	▲ 4,344	
		雑費	5,000		5,000	
		計	724,000	761,414	▲ 37,414	
		ホームページ制作費			0	
		福祉フォーラム費	100,000	91,600	8,400	会場使用料・講師謝礼
		ボウリング大会費	70,000	79,136	▲ 9,136	景品代 300円×50人
		会議費	15,000	7,871	7,129	会場使用料・お茶代
		会費加入料		6,000	▲ 6,000	
	計	185,000	184,607	393		
	合 計	909,000	946,021	▲ 37,021		
	当期事業収支差額		36,000	927,469	▲ 891,469	
	前年度繰越金		1,173,447	702,906	470,541	
	次年度繰越金		1,209,447	1,630,375	▲ 420,928	

* この決算書は暫定的な物です。監査済みの正式な決算書は当日に差し替えとなります。ご了解下さい。

増減欄削除の確認

承認

基本方針

1984年末、八王子障害者団体連絡協議会(八障連)は、八王子市総合福祉センター(現・東浅川保健福祉センター)の建設を契機に産声を上げました。加盟する団体も現在では市内に活動する障害者関係団体のほぼ8割が加盟しています。

私たち障害者を取り巻く社会状況も近年大きく変わり、行政施策への当事者参画、市民参画が急速に進み、それまでの対立から協働へと行政や関連機関との関係が転換される中、八障連が果たす役割がより重要と改めて求められています。

今年度も、これまでと同様に運営委員会体制を持続し、毎月の例会もより個々の問題意識に沿った活発なものとして行きます。障害種別を超えたより幅広い視野を持つ総合的な組織体としてその役割の拡充を目指していきます。

ただ単に制度や法律の問題に止まらず、身近な問題や課題を取り上げ地道な活動を進め、その共有化と解決の道筋を共に考え行動して行きます。また、市行政との協働の要となる「障害者地域自立支援協議会」へも積極的に参画するとともに、より早い状況の把握と迅速な対応に努めていきます。

さらに、現場の多忙さ等を理由に例会等への出席を控える団体が多くなっていること。また、それに伴い個々の団体と八障連との距離が広がり、その認知が薄くなっていることを重要な課題と捉え、早急の検討と改善を進めて行きます。

その上で、今後も引き続き、種別の異なる障害当事者が抱える個々の問題を全体の重要な課題と捉え、誰もが地域に暮らす隣人として分け隔てなく、共に安心して暮らし続けられる地域社会の創造を、今年度も基本姿勢としていきます。

■加盟の状況

《新規入会》

- ILみなみTama (正会員=2013年度)
ぴあらいふ (正会員=2013年度)
ケアサービス若駒 (正会員=2013年度)
若尾 喜美絵 (個人賛助=2013年度)

*尚、新規規定に伴い正会員から賛助会員に移行する団体もあります。

《年度当初会員数》

正会員=69団体 団体賛助会員=9団体 個人賛助会員=9名

<以上文責/夢田>

■活動の概要

●毎月の運営委員会と例会

- ・ 情報共有の場として、毎月1回(第3木曜 18時から19時クリエイトホールを基本会場として)定例の例会を行います。
- ・ 八障連の円滑な運営を図る為、毎月1回(第3木曜 19時～20時クリエイトホールを基本会場として)運営委員会を行います。

<文責/川出>

●情報の共有方法

- ・ 毎月1回、八障連通信の発行を通じ運営委員会・例会の議事録、障害者福祉に関する社会状況など情報の共有を行っていきます。
- ・ 八障連ブログを活用し、通信等のデータ保管と八障連からの情報提供を会員、その他へ発信していきます。アンケートを実施した会員データを整理して会員団体の情報も掲載していきます。八障連通信で同封した会員団体等の催しなども情報提供していきます。

<文責/有賀>

■対「行政」への取り組み

1. 対市予算要望・政策提言等

* 現在、要望事項を掘り起し検討中です。

八王子市では5年に渡った障害者総合支援法の移行が様々な問題をはらみつつ終了した。また、家賃問題も結論がでてしまった。そして、差別禁止条例も条例化されました。

現在、全体を通して共通の大きな課題が「防災」問題以外は発生していない状況です。

今後、個別問題を掘り起こしていくと同時に、行政に対してどのように対応していくのか、考えなければならない時期に来ています。

<文責/協田>

2. 八王子市障害者地域自立支援協議会への参画

八王子市障害者地域自立支援協議会も3年任期の最終年になります。今年度も、前年度同様に下記の2つの部会を中心に活動していきます。

その上で、これらの活動をどう関係者や市民に伝えていくか、また部会参加者をどう増やしていくかが課題です。これらについては、八障連としても取り組んでいきます。

また、26年度には障害者計画、障害福祉計画の見直し・策定がありますので、策定委員

への当事者参加等にも引き続き取り組んでいきます。

○権利擁護推進部会

下記の4つ事業を担当するプロジェクトチームを設置し平行して活動していきます。

1. 差別禁止条例及び虐待防止法の周知及び理解を促進するための事業（研修PT）
 - ① 事業所及び従業員向け研修会の開催
 - ② 条例の逐条解説本の発行
2. 障害のある人への理解を深めるための事業（ガイドブックPT）
 - ① 障害理解を深めるためのガイドブックの改訂
 - ② ホームページ等での周知
3. 差別禁止条例及び虐待防止法の周知及び理解を促進するとともに、障害のある人への理解を深めるための事業（イベントPT）
 - ① 市民向けのイベント開催（10月26日クリエイトホール）
4. 障害のある人たちの権利を擁護するための事業（権利擁護PT）
 - ① 差別・虐待の事例に基づいて、具体的な解決を図るための調査・提案
 - ② 差別・虐待を未然に防ぐためのガイドラインづくり

○地域移行・継続支援部会

今年度も、2ヶ月に1回のペースで例会を開催し、課題の共有化を図るとともに、これまでの報告を整理して、今後の障害者計画に反映させられるようにしていきます。また、今年度は、地域生活の大きな柱となっているケアホームの実態調査をおこなうプロジェクトと障害種別の防災マニュアル作成プロジェクトを設置します。なお、精神障害の退院支援の連携を目的にした「地域移行個別支援会議」が、今年度から公的位置づけから外れてしまうのを受け、この部会の傘下として連携していきます。

<文責／土居>

■市議会議員との懇談会の開催

前年度に引き続き、市議会議員の方々により深く障害者福祉の問題を理解し、市政に反映していただくことを目的に、市議会全会派の議員を招いての懇談会を開催します。テーマとしては、前年度に引き続き全障害種別に共通する課題『防災』を中心としていきます。

<文責／杉浦>

■会員相互の交流

1) ボウリング大会の実施

今年度も例年通り2月頃を開催めどとして、会員団体相互の交流を目標としたボウリング大会を開催します。

<文責／山田>

2) 忘年会・新年会の実施

会員相互の交流を図り、親睦を深める場として今年も昨年と同様の時期を目安に忘年会を開催したいと思います。 <文責/杉浦>

■各種委員会への新規推薦委員の紹介

八王子市の各種委員会に以下の方々を本年度新規に推薦しました。

- 八王子市社会福祉協議会地域福祉推進計画策定委員に、八王子市地域腎友会の池谷匠氏を推薦しました。

以上、ご提案を致します。

*日程の提示要望が有り予定をお知らせする。

対市予算交渉：8月末～9月初旬

市議懇談会：11月頃

*訂正P10

例会を毎月開催、運営委員会は（代表の招集による不定期開催）

対市要望（現時点）

八腎会・エミング・ほっとスペース・コロポックル

承認

第4号議案 年会費の改定および会員規定の新設（案）

これまで年会費の算出根拠としてきた東京都の補助制度が終了するに当たり、新たに団体種別を基にした年会費額に変更する。また、それに伴い会員の登録に関して、これまで曖昧となっていた「団体」の規定を必要最低限として、以下の2点を設ける。

- ① 八障連における「団体」とは、一組織内の最小単位、すなわち一事業所およびそれを有しない一任意グループとし、複数の事業所等を有する法人等の統括組織は、対象としない。その理由としては、会費の設定等に矛盾または混乱を招くため。
但し、賛助会員は口数会費のため適用はしない。
- ② 事業所の単位は一棟を1団体とし、ユニット（主従関係）の場合も基本的にそれぞれを別の事業所とみなす。但し、一組織内で何団体・何事業所が加盟するかは、これまで同様その組織内の判断に委ねる。

◆年会費の改定案

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| ① 日中活動系事業所（就労・生活介護・多機能等）33団体 | 15,000円 |
| ② 相談支援・体験宿泊・生活支援・居宅支援・放課後等デイ等15団体 | 7,000円 |
| ③ グループホーム・任意・親睦・相互支援団体21団体 | 3,000円 |
- * 賛助会費については変更しない。

◆ポイント解説

- ① これまで都の補助金額を算定根拠とし、細かく分けられていたランクを、団体種別に整理統合し、3ランク（個人賛助を含むと4ランク）にまとめた。但し、約半数は会費額がダウンとなるが、逆にアップとなる団体も生じる。
- ② 団体会費の下限を3,000円とし、これまでの団体賛助会員一口3,000円、正会員の下限が個人賛助と同じ2,000円という矛盾を解消した。但し、これまで未補助枠として2,000円だった団体は1,000円のアップとなる。

<以上文責／夢田>

以上、ご提案を致します。

各団体数加筆

承認

第5号議案 2013年度事業予算(案)

2013年4月1日～2014年3月31日

		科目	2012 決算額	2013 予算額	増減	備 考
収入		年会費	1,306,830	700,000	▲ 606,830	
		ボウリング参加費	27,000	15,000	▲ 12,000	
		H23 年度会費	539,660	0	▲ 539,660	
		雑入		0	0	
		合 計	1,873,490	715,000	▲1,158,490	
支出	事務局	人件費	324,000	324,000	0	事務報酬 5,000 円×5 名×12 ヶ月+2,000 円×12 ヶ月×1 名
		通信費	124,173	60,000	▲ 64,173	携帯電話代
		振込手数料	7,560	100,000	92,440	
		八障連通信費	299,552	160,000	▲ 139,552	通信発送費・通信印刷代
		消耗品費	1,785	2,000	215	事務用品
		HP プロバイダー	4,344	10,000	5,656	
		雑費		5,000	5,000	
		計	761,414	661,000	▲ 100,414	
		ホームページ制作費			0	
		福祉フォーラム費	91,600		▲ 91,600	会場使用料・講師謝礼
		ボウリング大会費	79,136	15,000	▲ 64,136	景品代 300円×50人
		会議費	7,871	5,000	▲ 2,871	会場使用料・お茶代
		会費加入料	6,000	3,000	▲ 3,000	
		計	184,607	23,000	▲ 161,607	
		合 計	946,021	684,000	▲ 262,021	
	当期事業収支差額		927,469	31,000	▲ 896,469	
	前年度繰越金		702,906	1,630,375	927,469	
次年度繰越金		1,630,375	1,661,375	31,000		

以上、ご提案を致します。

増減欄削除確認にて承認

追加項目 1

会計処理上の諸問題の解決を計る目的で、以下の項目を規約第2条（事務所）の2項に追加する。

（事務所）第2条

2 当協議会においての会計の所在は、事務所とは別に会計担当者の所属する団体内に置くものとする。

追加項目 2

第4号議案の新規定に伴い、以下の2項目を規約第5条（会員）の4・5項に追加する。

（会員）第5条

- 4 当協議会においての「団体」の規定は、法人等一組織内の最小単位、すなわち一事業所およびそれを有しない一任意グループとし、複数の事業所等を有する法人等の統括組織は対象としない。但し、賛助会員は口数会費のため適用はしない。
- 5 事業所の単位は一棟を1団体とし、ユニット（主従関係）の場合も基本的にそれぞれを別の事業所とみなす。但し、一組織内で何団体・何事業所が加盟するかは、その法人組織内の判断に委ねる。

尚、以上の追加項目は規約の最後尾（付則）に総会開催日付にて追記されます。

<以上文責／夢田>

以上、ご提案を致します。

承認

第7号議案 2013年度 運営委員等人事（案）

1. 運営委員

有賀	豊	(リサイクルわかくさ)
池谷	匠	(八王子市地域腎友会)
伊東	隆	(喫茶ほほえみ)
川出	勇	(リサイクルわかくさ)
杉浦	貢	(第一若駒の家)
多田	靖史	(パオ)
土居	幸仁	(八王子生活館)
松岡	都	(夢来)
丸山	武	(あっとほうむ)
山田	輝生	(ほっとスペース八王子)
脇田	泰行	(らいふ結)

以上 11名

2. 役員

代表	多田	靖史	(パオ)
副代表	脇田	泰行	(らいふ結)
事務局長	杉浦	貢	(第一若駒の家)
会計	丸山	武	(あっとほうむ)
会計補佐	川出	勇	(リサイクルわかくさ)

3. 監事

会計監査 清水 栄 (プレアデス代表取締役：個人賛助会員)

以上、ご提案を致します。

承認

以上、報告いたします。

書記 伊東 隆

以上、内容に相違ないことを報告いたします。

議事録署名人 多田 靖史